

2017 年 9 月 18 日 發行

遊船河

日本橋～神田川周遊クルーズ



6 月 4 日(日)、本会主催のウォーキング&日本橋クルージングの会を举行。参加者は午前 9 時 45 分に人形町駅前に集合し、徒歩で日本橋へ移動後、チャーターしたクルーズ船に乗り込み、90 分にわたる日本橋クルーズを楽しんだ。出航前に参加者は日本橋のたもとで記念撮影。

■ 編輯出版 ■ 一般社団法人 廣東同郷會 會刊編輯部

〒103-0007 東京都中央区日本橋濱町 1-5-13 TEL.03-5823-6556 FAX.03-5823-6557

<http://www.guangdong-jp.org/>



■ **Contents** 本期目錄 ■

開場白 — 慶賀中秋	朱銘江	3頁
略談過敏性疾病	陸煥鑫	4頁
略谈过敏性疾病	陆煥鑫	4頁
アレルギー性疾患について	陸煥鑫	5頁
湛江行雜記	符順和	6頁
華僑華人廣東文化行	孔潔貞	10頁
華僑華人広東文化の旅	孔潔貞	11頁
徐闻珊瑚礁国家级自然保护区观感	尹星	14頁
京都嵐山にて中日友好を思う	朱銘江	17頁
山王祭 川崎一年一度的盛事	曾嘉良	21頁
山王祭 川崎年一度の大イベント	曾嘉良	22頁
アルプス紀行 その2 スイスアルプスフラワートレイルを歩く	李智光	23頁
街路樹にふれて	顧徳栄	28頁
理監幹事聯席會議記録	總務部	29頁
友好往來 活動相片選登	總務部	37頁



開場白

— 慶賀中秋 ...豐收的季節到了

— *The Mid-Autumn Festival*

朱 銘 江

又逢金秋季節，廣東同鄉會的《會刊》又和大家見面了。在這豐收的季節到來之際，編輯部謹向諸位讀者致以親切的問候及良好的祝福。恭祝大家身體健康！精神爽利！老少平安！闔家幸福！

一年又過去了一大半，再過十來天，便是中國傳統的慶賀團圓的節日——中秋節了。今天就跟大家簡單重溫一下關於中秋節的習俗與意義。

據悉，人們慶賀中秋是始於唐朝初年，盛行於宋朝，至明清時，已成為與春節齊名的中國傳統節日之一。受中華文化的影響，中秋節也是東亞和東南亞一些國家，尤其是當地的華僑華人的傳統節日。

自 2008 年起，在中國中秋節被列為國家的法定節假日。2006 年 5 月 20 日，中秋節已被國務院列入首批國家級非物質文化遺產名錄。

中秋節自古便有祭月、賞月、拜月、吃月餅、賞桂花、飲桂花酒等等習俗，流傳至今，經久不衰。中秋節以月之圓兆人之團圓，為了寄託思念故鄉，思念親人之情，祈盼豐收、幸福，成為豐富多彩、彌足珍貴的文化遺產。中秋節與春節、端午節，還有清明節併稱為中國的四大傳統節日。除華人區外，受中華文化的影響，中秋節也成為了朝鮮半島、日本、越南、琉球地區人民的傳統節日。

歷代文人墨客也留下了許多文學記述，當中最為出名的不外是唐代蘇軾的那首流傳已久的詞，《水調歌頭·明月幾時有》，現與大家分享：



明月幾時有？把酒問青天。不知天上宮闕，今夕是何年。
我欲乘風歸去，又恐瓊樓玉宇，高處不勝寒。
起舞弄清影，何似在人間？轉朱閣，低綺戶，照無眠。
不應有恨，何事長向別時圓？
人有悲歡離合，月有陰晴圓缺，此事古難全。
但願人長久，千里共嬋娟。

欣賞了蘇軾的佳作之後，在此祝願大家

花好月圓！佳節幸福美滿！闔家幸福安康！

略談過敏性疾病

陸煥鑫

過敏性疾病有花粉症、喘息、皮膚炎等，因為沒有治本的療法，所以醫生與患者都陷於疲勞，困倦的狀態。

說起過敏性疾病，就會容易想起過敏性體質這個名詞，若說體質，就容易給人一個印象是有生以來的，是遺傳的。當然先天的因素是無可否認，但我認為後天的因素影響最大。觀察統計結果就知道戰前在日本的過敏性疾病並不多，但戰後開始漸漸增加了。亦即是說戰後日本的生活環境的變化是過敏性疾病增加的原因，特別是化學藥物的長期服用產生了過敏性疾病。防腐劑與染色劑等添加物，幾乎全部食品都有使用，所以人們在不知不覺中大量而且長期吃了化學藥品。我認為過敏性疾病是化學藥品的慢性中毒。但有人會反駁說不少人是沒有反應的呀！為什麼呢？因為人體本身有解毒能力，解毒能力強的人就不會出現症狀了。長期兼大量食用的加工食品沒有比麵包更多了。亦即是說麵包是引起過敏性疾病最大的原因食品。所以我平時很少吃麵包的。

最近有一位內科醫生寄稿新聞，說麵包是過敏症的原因，現在終於和我有相同意見的人出現了，對此我十分高興。

食品的添加劑不單會引起過敏性疾病，其他的疾病也會引起的。最近我有一個經驗，現在將它報告如下。

我常常到溫水池游泳的，大概一個星期利用四、五天。有一個時期我喜歡吃雪糕夾餅，游完水之後必吃一塊。我知道雪糕夾餅含有添加物，不應多吃，但因為好吃，不知不覺間，每次游完水之後必吃一塊。我心裡想，若有問題發生時，馬上中止也不會遲吧！就是這樣，每次游水完畢都吃雪糕夾餅，我認為這是一個愉快的人體實驗。果然不出我所料，半年後心臟有不整脈出現，我立即中止吃之後，症狀一天就好了。這樣就證明了長期吃含有同樣添加物的食物會引起疾病的。

這樣，生了病的人因為不知道什麼是原因，只有求教醫生，醫生也不知道原因是什麼，只有開藥。這又發生了一個原因不明的疾病了。原因不明的疾病就是這樣的方式漸漸增加了。古語說，病從口入，信焉。

略谈过敏性疾病

陆 焕 鑫

过敏性疾病有花粉症、喘息、皮肤炎等，因为没有治本的疗法，所以医生与患者都陷於疲劳，困倦的状态。

说起过敏性疾病，就会容易想起过敏性体制这个名词，若说体质，就容易给人一个印象是有生以来的，是遗传的。当然先天的因素是无可否认，但我认为后天的因素影响最大。观察统计结果就知道战前在日本的过敏性疾病并不多，但战后开始渐渐增加了。亦即是说战后日本的生活环境的变化是过敏性疾病增加的原因，特别是化学药物的长期服用产生了过敏性疾病。防腐剂与染色剂等添加物，几乎全部食品都有使用，所以人们在不知不觉中大量而且长期吃了化学药品。我认为过敏性疾病是化学药品的慢性中毒。但有人会反驳说不少人是没有反应的呀！为什么呢？因为人体本身有解毒能力，解毒能力强的人就不会出现症状了。长期兼大量食用的加工食品没有比面包更多了。亦即是说面包是引起过敏性疾病最大的原因食品。所以我平时很少吃面包的。

最近有一位内科医生寄稿新闻，说面包是过敏症的原因，现在终于和我有相同意见的人出现了，对此我十分高兴。

食品的添加剂不单会引起过敏性疾病，其他的疾病也会引起的。最近我有一个经验，现在将它报告如下。

我常常到温水池游泳的，大概一个星期利用四、五天。有一个时期我喜欢吃雪糕夹饼，游完水之后必吃一块。我知道雪糕夹饼含有添加物，不应多吃，但因为好吃，不知不觉间，每次游完水之后必吃一块。我心里想，若有问题发生时，马上中止也不会迟吧！就是这样，每次游水完毕都吃雪糕夹饼，我认为这是一个愉快的人体实验。果然不出我所料，半年后心脏有不整脉出现，我立即中止吃之后，症状一天就好了。这样就证明了长期吃含有同样添加物的食物会引起疾病的。

这样，生了病的人因为不知道什么是原因，只有求教医生，医生也不知道原因是什么，只有开药。这又发生了一个原因不明的疾病了。原因不明的疾病就是这样的方式渐渐增加了。古语说，病从口入，信焉。

アレルギー性疾患について

陆 焕 鑫

アレルギー性疾患には花粉症、喘息、皮膚炎などがあります。根治療法がないので、医者も患者もへとへとになって困り果てています。

アレルギー性疾患というと、すぐアレルギー体質という言葉が頭に浮かんで来ます。体質というと生まれつきで、遺伝的なものという印象を受けます。もちろん、先天的な素因もあるでしょうが、私はむしろ後天的な素因のほうが大きいのではないかと考

えています。その理由は統計結果を見ると、戦前の日本にはアレルギー性疾患の患者が少なく、戦後から徐々に増えてきているのです。アメリカでは戦前も多かったようです。すなわち、戦後の日本の生活環境の変化がアレルギー性疾患を増やした原因だと私は思っています。特に化学薬品の長期服用はアレルギー性疾患を生み出します。防腐剤や着色剤などの添加物はほとんどの食品に使用されているので、人は知らないうちに大量かつ長期的に化学薬品を食べています。アレルギー性疾患は化学物質の慢性中毒症だと私は考えております。それにかからない人もいるのでは、と反論する人もいますが、その理由は人体には解毒能力を持っているので、それが強い人は症状が出てこないだけです。長期かつ大量に食べられている加工食品はパンがその代表格でしょう。即ち毎日食べているパンはアレルギー性疾患を起こす最大の原因食品だとかなり前から私は思っています。だから私は普段あまりパンを食べていません。最近一人の内科医がパンはアレルギー性疾患の原因だと新聞に寄稿しました。やっとな私と同じ考えを持つ人が現れたなと私は喜んでます。

食品の添加物がアレルギー性疾患だけではなく、他の病気も起こすので、私は添加物が入っている食品をなるべく避けています。最近一つの体験があるので、皆さんにそれを報告したいと思っています。

私はよく温水プールに通います。一週間に4～5回位です。ある時期にアイスモナカにはまりまして、泳ぎ終わった後は必ず食べていました。アイスモナカには色々添加物が入っていることが分っているので、沢山食べてはいけないと思いつつ、美味しいから知らず知らずのうちに毎回大きいのを食べました。体に異変が起きたらすぐに中止すれば間に合うでしょうと自分に言い聞かせて毎回つづけて食べました。案の定、半年後、心臓に不整脈が生じました。早速アイスモナカを中止したら一日で症状が治まりました。これで同じ添加物が入っている食品を長期に食べると体に異変を起こすということははっきりと証明されました。

この様に病気になった本人は原因が分からないので、医者に見てもらうことになるでしょうが、医者も原因がわからないので、薬を出すだけです。したがって又一つ原因不明の疾患が発生したわけです。

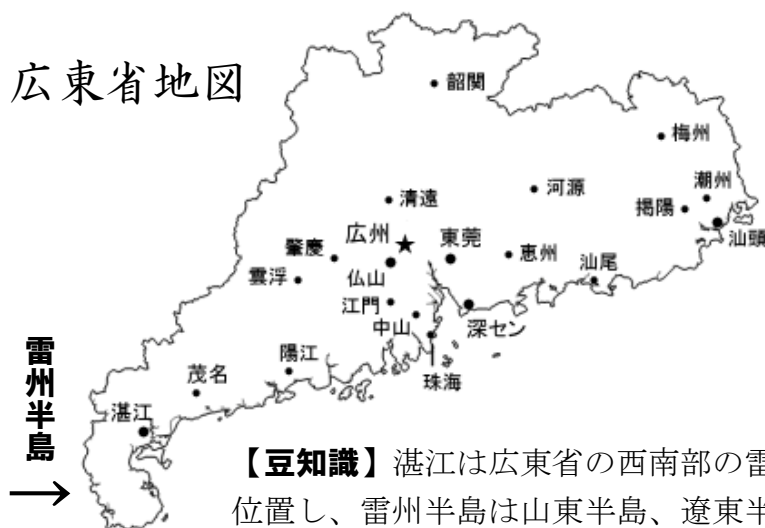
この様にアレルギー性疾患を含めて、原因不明の疾患がこの方法でどんどん増えて来たわけです。

昔からの言い伝えですが、病気は口からということは本当ですね！

湛江行雑記

符 順 和

7月8日から湛江訪問団の一員として10年ぶりに広州を訪れることになった。もともと出不精の私は、祖国中国どころか日本の国内でさえも、およそ旅行とは縁のない生活を送っている。旅行に行くとなるとまず頭に浮かぶのは「塾」をどうするかという事である。ご承知の方も多いと思うが、私は現在横浜中華街の福建会館4階で、日・祭日以外毎日塾を開いている。対象は横浜山手中華学校と横濱中華學院の小学生及び中国から日本の小学校に編入してきた子どもたち。一日二日なら、塾を休んでもどうという事はないと思いながらも、毎日休みなく塾に通ってくる子どもたちを思うと、ちょっとやそつとでは休めない。そんな私が重い腰を上げ、訪問団に加えていただくことになったのも団員の皆さんの熱心な勧めと、自分の歳と性格を考えると、この先いつ広州に行けるかわからないと、ふとそんなことを考えたからでもある。



【豆知識】 湛江は広東省の西南部の雷州半島に位置し、雷州半島は山東半島、遼東半島に次ぐ中国の三番目に大きな半島で、雷州半島南部の徐聞県は中国大陸の最南端である。

いざ出かけるとなると、今度は欲が出て、どうせ行くなら暨南大学の華僑華人研究所の先生や大学図書館を訪れて、華僑史の資料がどれだけあるのか、研究の実情が知りたいと思い、あわてて先生方と連絡を取る始末。というのも、私が長年集めた蔵書をまとめて引き取ってくれるところはないか、いろいろ考えているからである。

話を湛江市訪問に戻そう。広東省湛江市、その名を聞いても初めのうちは、どのあたりに位置しているのか、恥ずかしながらよくわからなかった。雷州半島、中国の最南端、海南島の目と鼻の先…今回訪問して、今湛江が進めている第一級の国家プロジェクト、その壮大な計画の一端を垣間見ることができ、祖国中国が進めている経済建設「中国の夢」、「一帯一路」が現実のものとして、その躍動感を実感することができ

た。

「湛江規劃展覽館」を見学し、湛江市の建設計画の全容の模型を見たとき、その地理的位置の優越性、未開発の多くの土地、最短距離で東南アジア、アフリカ、ヨーロッパを結ぶ物流の拠点ともいふべき貿易良港——湛江港、いくつもの島の特徴を生かした都市計画、世界一といわれる長い砂浜を持つ海岸線、中国大陸最南端といわれる徐開の「南極」、そしてサンゴ礁の自然保護区、三方を海に面した温暖な気候と豊かな海の幸、随所に見られる有り余るほどの観光資源、そこから湛江の町の計り知れないほどの可能性をみることができた。

湛江を訪れて、嬉しかったのはことの一つに、広州湾歴史民俗館や雷州史博物館始めいくつもの歴史的建造物を見ることができたことをあげられる。国が推し進める経済建設に、これまでになく歴史や文化遺産を大切にす政策が根づいていることを感じたからである。

湛江はかつて広州湾と呼ばれ、香港がイギリス領になった 1898 年、フランスにより占領され、47 年の長きにわたって植民地として統治されたという歴史を持っている。1937 年の抗日戦争が勃発したあと、特に香港が日本軍に制圧されてからは、広州湾は当時中国で唯一の自由通商港となり、一躍中国の商業の重鎮となり陸海運の中心となった。陳寅恪、梅蘭芳、夏衍など多くの著名な文人が香港や内地からこの地にやって来て、政治・経済・文化芸術が花開き、空前の繁栄をもたらした。1943 年 2 月、日本軍は広州湾を占拠し 1945 年 8 月の無条件降伏するまで統治し続けた。同年 9 月に中国政府が広州湾を接收しこの地を湛江市と名付けた。このフランスの統治を受けていた時期を「広州湾時期」といい、古来中国の文化と西洋の文化が融合し、街並みや建物とその装飾、生活用品などにその影響が色濃く表れ、特異な広州湾文化をきづき上げた。当時の歴史、風俗、そして様々な生活用品が、所狭しと展示されている「広州湾歴史民俗館」の所蔵品の素晴らしさ、多さには目を見張るものがあった。戦乱の続いた広州湾でこれらの所蔵品を集めるのは並大抵ではなかったに違いない。見る物すべてを撮り尽くしたいとシャッターを切るが、到底撮り尽くせるものではない。もう一度ゆっくり出かけてきたいと思いつつも、それは無理だろうと思うそばから自分で否定する。後ろ髪をひかれる思いで、本当に残念な気持ちで歴史民俗館を後にした。

その際、特別な計らいで、胡賢光先生から『広州湾钩沉』というご本を頂いた。このほんはカラー刷りの所蔵物の名のみならず、広州湾の歴史を背景にその年代、由来を記した学術的にも素晴らしい本だった。

雷州市博物館は、街中の大きな施設の立派な博物館で多くの文物を所蔵しており、特に「雷州石狗」——姿態、表情の違う石の犬が 1000 体以上も展示されていて、石の犬を守護神としての信仰は、日本の神社の狛犬やお稲荷さんの狐信仰とどう違うのか興味深かった。

湛江市に滞在していた 3 日間は「広州湾歴史民俗館」「雷州市博物館」のほか「広州湾法国公使署旧址」の展示や歴史的建造物を見学したが、どの展示物も建物も政府が本腰を入れて取り組んでいることが良く分かった。

この地に育つ子は、この総合的な都市計画の模型を見て、歴史的文化遺産を誇りに思い、自分たちの国の建設に役立つ人間になろうと、一生懸命勉学に励むに違いない。豊かな自然と、歴史的遺産、そして自分の手で創造する理想的な未来が目の前に開かれているのだから。実際に湛江港（集団）股份有限公司の港の施設を一望できる管理棟や、湛江市の海の水産物を、近代化された工場で加工し世界各国に輸出している湛江国聯水産開発股份有限公司、整備されている海浜公園等々、様々な施設をめぐり、その思いはますます強くなった。湛江市の経済建設の明るい未来がすぐそこにあると感じた。

湛江市の素晴らしさは食べ物の美味しさにもある。豊富で新鮮な蟹、エビ、アワビなどの貝類や魚類などの海の幸、荔枝・龍眼・黄皮・火龍果・菠蘿蜜・哈蜜瓜など色々な種類の果物があるがここでは述べない。ただ野菜炒めのさつまいもが美味しいかったことと山海珍味と共に毎回出てきた蒸かしたさつまいもが印象に残っている。

湛江市訪問の団と別れ、私は4日ほど、仏山市の碧桂園にすむ友人の家で世話になった。



湛江市内の金沙湾觀海長廊海浜浴場のビーチを背にして

何処を観光したというほど大げさなことはないが、それでも仏山市祖廟博物館や碧江金楼をみたり、古建築を模した街並みの観光をしたり、公園の中の文化施設を見たりした。もちろん観光の目玉、客寄せという事も有ろうが随所に古来の文化を、歴史を大切にするという気風も感じられた。庶民の台所というべき市場の新鮮な肉・野

菜・果物、種類の豊富なことにも目を奪われる。その活気にときたら、実に気持ちの良いものだった。

最後に、湛江市訪問団の写真がアップされている広東同郷会のホームページで見たい。湛江市の空は青く白い雲が印象的であったし、海は紺碧で澄んでいて、赤みがかかった砂浜とよくマッチしていて、行ってみたいと思われること請け合いである。

2017年6月5日至11日，我和來自15個國家和地區的華人社團和華文學校代表共同參與了首屆由廣東省僑務辦公室主辦的“華僑華人廣東文化行活動”，並在省僑辦舉行了座談交流會。

廣東文化行活動以“講好廣東故事，推動廣東文化走出去”為目的，我們先後參觀了廣東華僑博物館、廣州陳李濟中藥博物館，（有百多年歷史的陳李濟中藥廠，當年，陳氏，李氏兩家為了合作經營成功，曾約法三章：公私分明、兩家永世不能通婚和三年一換班，即陳李兩家輪流掌管三年），從而了解華人華僑歷史文化和南粵中醫藥文化；我們還登上紅船，在暢遊珠江的同時，也近距離欣賞了作為世界非物產文化遺產之一的粵劇文化。在潮州木雕藝術館和中國刺繡文化研究院聆聽國家非物產文化遺產傳承人、木雕大師辜柳希等專家的親自講解。實地考察韓文公祠、湘子橋、廣濟門城樓、牌坊街、饒宗頤紀念館和開元寺等潮州主要文化景點；參觀汕頭文化館非遺展廳、汕頭開埠博物館、僑批博物館、澄海樟林古港等極具地方文化和僑文化特色的文化遺產。

通過參觀、考察、交流、體驗，讓我對潮汕地區的文化、民間習俗以及工藝有了更深入的了解，究極的潮州飲食文化，清而不淡，鮮而不腥，嫩而不生，油而不膩，特別是當地的獅頭鵝肝並不遜色於名菜法國鵝肝，讓人回味無窮。最有趣的是功夫茶傳說，原來這功夫不單是在泡茶上下功夫，更是在品茶間取智慧、拿商機，真不愧為有中國猶太人之稱，精明呀！民間傳統習俗“出花園”（即成人節），年滿15歲的孩子就要出花園，意思是成年了，不要再留戀在花園玩耍了，當事人當天24小時要足不出戶在家迎接親朋好友的祝福。看來這儀式也是無形中告訴年輕人做事要有忍耐性；工藝精湛、玲瓏剔透的木雕，精巧秀麗、造型優美著稱的剪紙、四大名繡之一潮繡。（其與廣繡合稱為粵繡）等等都體現了潮汕人對美的追求與執著。

一周的廣東文化行，參與者都紛紛表示回到住在國將努力地把所見所聞的廣東人文風情和廣東僑鄉經濟社會發展最新資訊，傳遞給僑胞和民眾，增進僑胞與廣東家鄉的了解和感情，發揮華僑華人的本土化優勢，講好廣東故事，推動廣東文化“走出去”。



筆者在韓文公祠前留影

華僑華人広東文化の旅

孔 潔 貞

2017年6月5日～11日、私は15カ国の華人社団と華文学校の代表者と共に広東省僑務弁公室主催の「第一期華僑華人広東文化行」の活動に参加しました。

目的は華僑華人広東文化行の活動の一環として、海外在住の私達が、広東文化を知り、その素晴らしさを認識し、日々の生活の中で生かせるようにする為です。

1日目の省僑弁での交流会後、見学と研修が始まりました。

まず、広東華僑博物館・広州陳李濟中薬博物館を見学し、華人華僑の歴史文化と南粵の中医薬文化の詳細を理解することが出来ました。100年余りの歴史を持った陳李濟中薬は、陳氏と李氏両家が共同経営を行っているのですが、この経営が将来にわたって継続できるようにする為に、当時から3年ごとに主管人を変更する、両家は永遠に通婚できないというユニークな制度を取って来ています。

また、遊覧船では、世界非物質文化遺産中の一つ粵劇文化を目の当たりにすることが出来ました。潮州木雕芸術館と中国刺繍文化研究院では、非物質文化遺産を伝承し、木雕大師でもある辜柳希氏等の専門家の方の丁寧な解説に理解を深め、新たな興味を持つことが出来ました。このほか、韓文公祠、湘子橋、広濟門城楼、牌坊街、饒宗頤

記念館と開元寺など潮州の主要な文化観光名所に加え、汕頭文化館非遺展庁、汕頭开埠博物館、僑批博物館、澄海樟林古港など地方の特色ある文化遺産なども短い時間でしたが見学することが出来ました。

今回の研修で潮汕地域の文化、風習及び芸術品に深い興味を持つことが出来、また潮州飲食文化、大切に食材の持ち味を生かした料理など本当に味わい深いものを感じることが出来ました。私の興味を最も引いたものは潮汕功夫茶伝説です。内容は、茶芸に工夫をするのは勿論、お茶を飲みながらの世間話に知識を広め、更にはビジネスチャンスをもににする、という話です。さすが「中国のユダヤ人」と言われるだけあります。また、民間の伝統的風習である「出花園（成人式）」についても興味深い話を聞きました。15歳になると「出花園式」という儀式があります。これはその日一日(24時間)家にいて家族と友人からの祝いを受ける為に一歩も外に出てはいけない、というものです。つまり若いうちから忍耐力が大切であることを教えているのです。

精巧で美しい木雕工芸品、造型が優美な剪紙、四大刺繍中の一つ潮繡(広繡と併せて粵繡という)などは、すべて潮汕の人々の美しいものへの追求とそれを維持して行くための強い気持ちの表れでは無いでしょうか。

一週間という短い期間でしたが、この広東文化を直接肌で触れることで、参加者全員が居住国へ帰ったら、広東の人文風情と広東僑郷経済社会の最新の発展ぶり皆に伝えようと誓い合いました。私たちの住居は世界中に広がっています。今後、僑胞とふるさと広東とを結び、華僑華人のそれぞれの国での優勢を維持し、広東の物語を広く伝え、広東の更なる発展のために微力ですが尽力したいと考えます。

徐闻珊瑚礁国家级自然保护区观感

尹星

徐闻县是广东省湛江市下辖的一个县，位于中国大陆最南端、广东省西南部、雷州半岛南端。徐闻珊瑚礁保护区经 1999 年徐闻县人民政府批准建立，2007 年获得国务院审批成为国家级自然保护区。



而位于徐闻角尾乡的广东徐闻珊瑚礁国家级自然保护区珊瑚展览馆于 2013 年开馆，这是湛江市目前唯一一个以珊瑚为主题的珊瑚展览馆。今夏有幸到此访问参观，特写此稿表述观感和答谢。

新开的珊瑚馆采用现代化的陈列方式，分有文字说明、珊瑚标本、图片展示区，配有声、光、电的展示效果。



此外，珊瑚展览馆还配套另设有珊瑚标本室、宣教室，提供了珊瑚标本与影视图像，

方便了人们对珊瑚知识的学习交流，多方位、多角度展示珊瑚的方方面面。该馆将在普及珊瑚知识，提高人们保护珊瑚资源与海洋生态环境意识等方面发挥重要的科普教育功能。



珊瑚的英文名称为 Coral。珊瑚是重要的有机宝石之一，也是古今中外深受喜爱的宝石品种。古罗马人认为珊瑚具有防止灾祸、给人智慧、止血和驱热的功能。它与佛教的关系密切，印度和中国西藏的佛教徒视红色珊瑚是如来佛的化身，他们把珊瑚作为祭佛的吉祥物，多用来做佛珠，或用于装饰神像，是极受珍视的首饰宝石品种。



珊瑚是一种海生圆筒状腔肠动物，名叫“珊瑚虫”。在白色幼虫阶段便自动固定在先辈珊瑚的石灰质遗骨堆上。珊瑚依靠自己的触手来捕捉食物，并分泌出一种石灰质来建造自己的躯壳。珊瑚在生长过程中，为了能更多地捕捉食物和吸收阳光，除向上生长外，还向前后、左右扩展，形成在三度空间似树枝状的生物群体。随意取出一束即婀娜多姿，美丽动人，是天然艺术品。



近几年来，徐闻珊瑚礁观光点和灯楼角旅游区成为众多游客慕名前往的旅游景点，可是观光珊瑚只能是退潮时才能看得到，令某些外地赶来的游客空手而归。广东徐闻珊瑚礁国家级自然保护区珊瑚展览馆的建成将在一定程度上弥补珊瑚观光点的这一缺憾。在珊瑚展览馆，千姿百态、颜色极富变化的珊瑚实在令游客大饱眼福。

除了成了标本的珊瑚展览以外，还有一个珊瑚馆，来自这里海域的活珊瑚、活海葵、贝类及各种多姿多彩的珊瑚礁精品鱼类，配以惟妙惟肖的仿生岩石造景，先进的水处理技术，通过声、光、影像等现代的高科技手段，完美地还原了海底世界的的神奇与美丽。使游客在不知不觉中学到有关海洋的专业知识，感受海洋世界的的神秘莫测，领略现代高科技展示方法的奇妙。





纵观世界，温暖海洋地区，都有不少美丽的珊瑚生长，地中海是著名的珊瑚宝石产地，非洲的红海素以多珊瑚礁著称，另外还有西班牙、日本小笠原群岛至硫球群岛海区、台湾基隆和澎湖列岛均有质量好的珊瑚！

京都嵐山にて中日友好を思う

朱 銘 江

「雨中嵐山」

今年は中日国交正常化 45 周年の記念すべき年にあたる。そして来年は中日平和友好条約締結 40 周年を迎える。

6 月、京都へ行く機会があり、嵐山に足を延ばした。周恩来総理の「雨中嵐山」の碑を見に行くためだ。

嵐山は言わずと知れた京都の代表的な観光地で、私が訪れた日も内外の多くの観光客で賑わっていた。

京福電鉄嵐山駅を下り、正面の駅前通りを左折してしばらく行くと、大堰川(おおいがわ)に掛かる有名な渡月橋にあたる。現在の橋は 1934 年に完成し、橋脚と橋桁は鉄筋コンクリート製だが、欄干部分は景勝地である嵐山の風景にとけ込むよう木造となっている。この橋を渡らずに右折し、川に沿って上流方向へしばらく歩くと右側に嵐山亀山公園が見えてくる。亀山公園へは右側の石段を登るとたどり着く。

周恩来総理は 1917 年 9 月から 1919 年 4 月にかけて日本に留学し、ことに最後の半年余は京都の友人宅に寄宿していた。



「雨中嵐山」の詩碑の前で

当時、京都大学経済学部にはマルクス主義の紹介と普及に大きな役割を果たした河上肇教授が在職していたが、周恩来青年は河上の著作を愛読し、その影響を受けたと言われている。

「雨中嵐山」の詩は、帰国を前に嵐山を訪れて作ったもので、その頃としてはきわ

めて斬新な新体詩（口語詩）であることは、彼が当時の文語による旧文学に反対し、言文一致の国民文学を樹立しようとした文学革命運動の先端的な実践者であったことの証左であるとされる。

1919年4月5日、京都にて「雨中嵐山」が生まれた。私がこの詩に初めて触れたのは横浜山手中華学校中学部の「語文」の教科書であり、この詩を暗記し田福老師の前で背書（暗唱）させられた覚えがある。

《雨中嵐山——日本京都》

一九一九年四月五日

雨中二次游嵐山	雨の中を二度嵐山に遊ぶ
兩岸蒼松	兩岸の青き松に
夾着幾株櫻	いく株かの桜まじる
到盡處	道尽きるや
突見一山高	ひときわ高き山を見る
流出泉水綠如許	流れ出る泉は綠に映え
繞石照人	石をめぐりて人を照らす
瀟瀟雨 霧蒙濃	雨濛々として 霧深く
一線陽光穿雲出	一筋の陽光雲間より射して
愈見嬌妍	いよいよなまめかし
人間的萬象真理	世のもろもろの真理は
愈求愈模糊	求めるほどに模糊とするも
——模糊中偶然見着一點光明	——模糊の中にたまさかに一点の光明を見出せば
真愈覺嬌妍	いよいよもって なまめかし

三十数年の時空を越えて、今回初めてこの詩文が刻まれた詩碑を目の当たりにし、うる覚えであった詩の字句が、当時暗唱したとおりに、一字一句鮮明によみがえった。目頭が熱くなり、全身に鳥肌が立った。

正面の碑文は廖承志氏に依る揮毫。

碑文の傍らには日本語で次のように刻まれている：

一九七八年十月、日中平和友好條約締結を記念し。京都人の子子孫孫までの友好の心を現す為ゆかりの深い此の地に偉大なる実力者周恩来總理の詩碑を建立する。一九七九年四月吉日。

背面には詩碑建立に携わった以下の団体名などが刻まれている。

では、この詩碑がいったいどのような経緯でこの地に据えられたのだろうか？

1978年8月、日中平和友好条約が調印され、この条約調印を永遠に記念し、子々孫々にわたる友好を願う心を表わしたいという声が巻き起こった。

そこで、京都にゆかりの深い、日中両国友好のために尽された周恩来總理の詩碑を建立しようという機運が高まった。

この年の9月6日、日本国際貿易促進協会京都総局1978年度第一回役員会におい

て正式に提案され賛成を得た。また翌7日、京都日中科学・技術者交流協会役員会でも賛成が得られた。

そして、当時日本国際貿易促進協会京都総局会長の職にあった吉村孫三郎氏の提案で、当時中日友好協会会長の廖承志氏が碑文の揮毫を引き受け、翌1979年1月22日に詩碑建立委員会が正式に設立され、京都日中友好十団体を構成団体とすることを確認し、3月16日に地鎮祭が行われた。

4月16日、来日中であった鄧穎超女史（全国人民代表大会常務委員会副委員長、周恩来総理夫人）が京都を訪れ、除幕式及び建立祝賀会が開催された。

その後も、温家宝総理胡錦濤主席らも来日した際に詩碑を訪れたことがあるほか多くの中国国家要人が京都嵐山に来訪し詩碑を参観している。



日中不再戦の碑

嵐山にはもう一つ中国にゆかりの石碑がある。正しくは中日両国にゆかりのある碑と言うべきだろう。

「雨中嵐山」の詩碑を後にし、来た道を逆戻りし、大堰川にかかる「渡月橋」を渡ると、川の中州にある嵐山公園の中之島地区にたどり着く。中州の東の端に「日中不再戦」と刻まれた大きな石碑が聳え建っている。

その碑の表には力強い筆跡で、『日中不再戦 良慶 九十四叟』とある。

刻まれた文字は、京都清水寺貫主・大西良慶翁の揮毫によるものである。

清水寺の貫主と言え、1995年から始まった年末の風物詩、毎年「漢字の日」の12月12日に、公募で選ばれたその年を表す一文字の漢字を「清水の舞台」で揮毫する姿がニュースになりますが、それよりさかのぼること27年前に、清水寺貫主であった良慶翁は、力強い筆遣いで「日中不再戦」を誓ったのである。

明治から昭和の波乱の時代を生き抜き、1983年107歳で天寿を全うした良慶翁。この文字を揮毫した時は、数え年94歳であった。

この碑の建立は1968年7月の盧溝橋事件30周年を記念して、日中友好協会京都府連合会によって建立されたものである。

石碑の裏には、

『日中戦争勃発三十周年を記念し、日中不再戦の悲願をこめて、広く京都府市民の協力により、景勝の地嵐山に碑を建立した。

これは日清戦争から太平洋戦争を通じて、日本ならびに中国の人民がこうむった悲劇を、断じてくりかえさない決意の表明である。

同時に、いままた侵略勢力が横行している時、日本・朝鮮・中国・ベトナムなどアジア諸民族は固く団結し、再びアジアを戦場としない決意の表明である。

一九六八年七月 日中不再戦運動京都実行委員会』

とあり、この碑が建立された経緯が綴られている。

当時の蜷川虎三京都府知事、富井清京都市長ら多くの著名な方々が発起人となり、両国の友好親善を願うたくさんの方々の並々ならぬ決意と努力がしのばれる。

中日国交正常化45周年、そして来年の中日平和友好条約締結40周年を迎えようとする時に、日本の景勝地である京都嵐山に立つ二つの碑を訪れ、日本に暮らす華僑華人として、我々も平和を願う多くの日本の友人らと手を携え、両国の善隣友好関係を継続発展していかなければならないとの思いを新たにした。



嵐山大堰川の川面に佇む白鷺

山王祭 川崎一年一度的盛事

曾嘉良

8月的日本各地，烟花大会，祭奠等等的活动都非常多。在这里想跟各位介绍一下的是，川崎的每年的一大盛事“山王祭”。

坐落在JR川崎站附近的“稻毛神社”，是传颂与景行天皇之缘的老神社，到江户时代为止被称作“河崎山王社”，守护着当时的东海道川崎驿站。川崎“山王祭”主要是由“孔雀”和“玉”象征着男女的两座“神舆”的巡游而构成，隐喻着神的结婚，怀孕，以及神子诞生的故事。

8月1日的傍晚，为了祈祷之后三天的正式祭奠能顺利，会举行前夜祭。8月2日上午，祭奠在严肃的气氛当中开始。而下午的“古式宫座式”（属神奈川县民族文化遗产）会在神主以及守护者家的长老们的主持之下进行。在仪式之中，女神像和男神像会被分别移到“玉神舆”和“孔雀神舆”里。这种移动方法是有传说的，象征着神的结婚。

正式祭奠期间的最后一天（周日）的一早，“神舆”由守护者们抬着开始巡游。很早以前，有“玉神舆是粗暴的神舆”这种说法，抬着“玉神舆”的队伍走得比较粗糙，而且会有很多人受伤。有人说当女神像被移到“玉神舆”之后就突然变得很重，所以自然就很难抬，但这是代表着“怀孕，阵痛”。

两座“神舆”在当天傍晚左右会到达“姥が森弁天”，这里是传颂山王的神子和他（她）奶娘的故事的地方。古老的水井里打上来的神水会一直陪伴着“宫座式”的进行，仪式完成之后，神水会被浇到“神舆”上面。如果不这么做的话，传说“神舆”不会安静下来，这其实是象征神子的第一次洗澡。到晚上8点左右，“神舆”会被供养在神社的大殿里面。虽然这一天在享受这祭奠气氛的人们很多，川崎的街上都非常的热闹，但在神社里举行的供养仪式都是非常安静地进行。

最近十年，随着在开发项目的展开，以前被称作“黑社会地盘”的川崎，发生着很大的变化，但川崎“山王祭”依然传颂着中世的文化。象征着神的婚姻和诞生的祭奠，也可以说是川崎这个地方对本地与外来文化的融合的向往。可以在这个祭奠节日当中，体会到川崎这个地方发展的根源。

然而，中国国内的情况却有所不同了，国内的发展速度，发展规模，远比川崎这个城市来的快来的猛，但在发展过程中却不断舍弃历史和文化。很多年轻一代对自己出生长大的地方都不熟悉，对历史文化不感兴趣。这样下去，即使有婚姻孩子，有血脉的传承，而历史文化的传承不是就逐渐消失吗，值得反思。想到这里，对我们同乡会的角色，和起到的作用，有了一个新的认识。

最后，各位如果有机会的话，一定要来川崎参加一下“川崎山王祭”，是值得一看的盛事。

山王祭 川崎年一度の大イベント

曾嘉良

8月は夏を満喫する時期であり、花火大会やお祭りなど日本中に盛んでいます。その中で、筆者が長年在住している、川崎の一大イベントである「山王祭」を少し紹介したいと思います。

JR川崎駅に近い「稲毛神社」は景行天皇との縁を伝える川崎の古社ですが、江戸時代までは「河崎山王社」と呼ばれ、東海道川崎宿の鎮守でした。そのまつり「川崎山王まつり」は「孔雀」「玉」と呼ばれる男女2基の神輿の渡御を中心に行われます。そこには、神の結婚、懐妊、御子神の誕生というストーリーが隠されています。

8月1日の夕方には前夜祭(宵宮祭)が行われます。例祭に先立ち行われる前夜祭では、3日間の無事と盛況を祈念します。8月2日の午前中には例祭が厳粛な雰囲気の中で齋行されます。午後には「古式宮座式」(神奈川県民俗文化財)が神主と氏子旧家の主人によって密やかに厳かに行われます。その中で玉神輿には女神、孔雀神輿には男神の御神体が遷されますが、その遷し方に古伝があり、それは神様の結婚を表しています。

例祭期間最終日(例祭直後の日曜日)の早朝、神輿は氏子巡幸に出発します。古来「玉の神輿は荒れ神輿」といって、女神輿の方は担ぎ方が荒くケガ人も多いのです。担ぎ手たちは「玉神輿は御霊が入るととたんに重くなる。だから自然に担ぎ方も荒くなる」と言いますが、これは女神の「懐妊・陣痛」を表しています。

2基の神輿は夕方近くに御旅所「姥が森弁天」に着きます。ここは山王さまの御子神とその乳母の逸話を伝える地です。古い井戸から汲んだ御神水を供えて「宮座式」が行われ、終わるとその御神水を神輿にかけます。これをしないと「神輿がおさまらない」と言いますが、誕生した御子神の「産湯」です。午後8時過ぎ、神輿は大勢の氏子に迎えられて宮入りし社殿に据えられます。境内はまつりの余韻を楽しむ人々で賑わいますが、社殿では御神体を本殿にお還しする神事が静かに行われています。

近年、再開発に伴い、昔「ヤクザのまち」とも言われる川崎は確かに激しく生まれ変わりました。そんな中で「川崎山王まつり」は中世の遺風をたしかに伝えています。神々の結婚と誕生を表すこのまつりは、まちが地元と外来の調和のなかに生み出す新たな生命力の希求でもあります。このまちが発展と変貌をやめない根源を、このまつりの中に見いだすことができます。

一方、我々中国国内の発展も当然これ以上のスピードで進んではいるものの、まちの文化や歴史を切り捨てようとしています。自分が生まれ育った場所をよく分からない、そもそも興味を示さない若い世代はたくさんいます。このままだと、親から子供、子供から孫への世代伝承があっても、歴史と文化の伝承がなくなってしまうのではないのでしょうか。お祭りを楽しんでいる中、同郷会はまさにこの役割を果たしているだろうなど、ふと思いました。

皆様も機会があったら、ぜひとも一度8月の川崎を訪れ、山王祭を体験してみてください。

アルプス紀行その2

スイスアルプスフラワートレイルを歩く

李 智 光



筆者夫妻

アルプス山脈

ヨーロッパ中央部を東西に横切る山脈。オーストリア、スロベニアを東端とし、イタリア、ドイツ、リヒテンシュタイン、スイス各国にまたがり、フランスを南西端とする多国にまたがっている。フランスとイタリアの国境にあるモンブラン(標高4,811m)が最高峰。

昨年(2016年)イタリア、フランスのアルプスを眺め歩いたので今年は同じ会社の「スイスアルプスのフラワートレイルを歩く」旅に妻と二人で参加した。

2017年6月16日 東京広尾のスイス大使館にてシェンゲン協定のビザを受領。

FROM 08-07-17 UNTIL 16-07-17 と滞在期間が記載されている。

2017年7月8日 成田空港9:25発KE706にて韓国インチョン空港に向かう。

13:30 インチョン空港到着。国際線乗継場所で成田よりの5名、新千歳からの3名、中部からの1名、関空からの4名及びガイド1名の計14名が合流、全員揃う。

14:55 発予定のスイスチューリッヒ空港行きKE917が2時間遅れの17:00にやっと出発する。飛行時間約11時間30分、韓国(日本と一緒に)とスイスの時差はマイナス7時間、チューリッヒ空港到着は22:00になってしまった。空港近くのホテルに入りシャワーを浴び、寝るころには日付が変わっていた。東京からヨーロッパはやはり遠い、長い一日でした。

7月9日 7:20 専用車でチューリッヒ中央駅に、鉄道託送でスーツケースをツェルマットまで送る。1個15CHF(日本円約1800円)。リュック一つで身軽になった。

スイスの鉄道の正確さは世界有数とされている。但し運営の考え方は日本とはだいぶ違うようだ。列車に乗る人は当然のように乗車券を持っているということが前提になっている。

駅には入出札口が設けられていない。従って係員も機械式入場口もなく自由にホームに進める。そのホームも50センチ程の高さ、ホームから転落する危険も少ない。

乗車中に検札が来ることもあったし誰も来なかった時もあった。

駅舎と街が一体化していて、市民が好きなように入出入りしている。勿論駅舎にはいろんな店がある。パン屋、ケーキ屋、チョコレート専門店、本屋、キオスク、衣料品等見ているだけでも楽しくなる。

昼食用のパンを購入、こちらではやわらかい食パンを使ったサンドイッチは少なく、噛み応えのある硬いバケットにハムやサラミソーセージやツナの缶詰、トマト、キュウリ等を挟んだ品物が多く感じられた。

乗車まで1時間程空いたので駅周辺をブラブラ。

古い建物、商店のショウウィンドウもセンスがある。駅前広場も広くて緑が多く、スマートなトラム（市電）が頻繁に行き交い、落ち着いた雰囲気のある街という印象を受けた。



後方建物はチューリッヒ中央駅、同行者とパチリ。

09:02 スイス国鉄にて出発する。

11:02 ビースプに到着。列車を乗り換える。

11:41 マッターホルンゴッタード鉄道（私鉄）にて出発。

12:51 ツェルマットに到着。駅前広場にてアルプホルンの歓迎演奏を受ける。お腹にずっしりと響く音色だ。

徒歩でホテル（Hotel CITY）まで行く。10分もあれば到着する、非常に便利な立地だ。

小休止の後、街中を案内して貰う。ホテルの玄関を出ると川（マッターフィスパ川）の向こうにマッターホルンが聳えて見える。少し先の橋には大勢の観光客がカメラを構えてマッターホルンの雄姿を写している。教会、山岳博物館、オールドツェルマット、スーパー、美味しいパン屋等を教えてもらう。この街にはマッターホルンガイド（頂上まで登山客を案内できるガイド）が約80人いるそうだ。

18:00 託送のスーツケースが到着。荷物を整理する。ホテルはこじんまりした部屋だが使い易い作りだ。ここには3泊する。



ツェルマット駅前広場にて
アルプホルンの歓迎

ツェルマット (標高 1620m)

スイス南部の山岳リゾート都市、世界的に有名な秀峰マッターホルン (4,478m) 観光の基地。マッターホルンを国境に南側はすぐにイタリアだ。(イタリアでは同じ山をモンテチェルビーノと呼んでいる)

7月10日 ホテルより徒歩5分でスネガ駅。地下ケーブルで約670mを一気に上がる。そこから更にロープウェイでロートホルン(3100m)に。ろくろく歩かないで1500mも上に来た。ストレッチをして、ハイキング開始。マッターホルンを横目に見ながらフラワートレイルを歩く、今日のマッターホルンはなかなか雲が取れない。しばらく歩いてエーデルワイスの咲いている所に出た。エーデルワイス、アルペンローゼ、ゲンチアナがアルプス三名花と言われている。高貴な白といわれるエーデルワイスも最近では咲いている所が激減し、アルプスガイド仲間では場所を公開しなくなっているとの事。勿論当方にはこの咲いている場所がどこに相当しているかトンとわからない。エーデルワイス、日本ではうすゆき草の仲間。早池峰薄雪草、礼文薄雪草等が知られている。この日見た動物：雷鳥、ホシガラス、マーモット。この日の歩数 17,658歩。この日の夕食：食パンとジャガイモのチーズフォンデュ。

7月11日 8:00 ロープウェイでシュバルツゼー (2583m) へ、ハイキング開始。こちらのルートはゲンチアナ (りんどう) の花が多い。5時間程歩いた。歩数 23,865歩。



7月12日 8:00 スーツケースをグリンデルワルトへ鉄道託送する。マッターホルンゴッタード鉄道、トゥーン湖の湖船、ユングフラウ鉄道等でアイガー山麓の街グリンデルワルトへ移動する。乗り物に変化があって楽しい。今回はHotel Kirchbühlに3泊する。

グリンデルワルト (1034m)

スイス中央部ユングフラウ地方の都市。アイガー (3970m)、メンヒ (4099m)、ユングフラウ (4158m) の三つの山が眺められるこの地区はアルプス有数のリゾート地として多くの観光客で賑わう。

7月13日、14日、ホテルを基地に駅から四方に出でている登山電車、ロープウェイ等を使い何か所かのフラワートレイルを歩いた。場所によりアイガー、メンヒ、ユングフラウの山容が異なっていて見える。14日に訪れた浸食で地中に潜り込んだテュルンメルバッハ

の滝は迫力満点だった。13日の歩数
21,448歩。14日の歩数 19,070歩。



頂上を見せないマッターホルン



ベルン旧市街遠望
世界遺産でもある

7月15日 朝スーツケースをチューリッヒ空港に別送する。ユングフラウ鉄道、スイス国鉄と乗り継ぎ11:23 ベルンに到着。スイス中央部にある

ベルンはスイスの首都。旧市街は世界遺産に認定されている。バスで旧市街を見下ろすローズガーデンに行く。この公園のレストランで食べた昼食（二人で56.5CHF 日本円6,734円）は美味しかった。

旧市街の散策は世界遺産だけあって楽しかった。ベルン大聖堂、時計台、石畳の歩道と何とも風情がある。駅に戻りスイス国鉄で空港に向かう。

チューリッヒ空港

16:28 空港に到着。荷物を受け取り、同じビルにある生協に交代で最後のみやげ物を買に行く。

17:30 航空会社（大韓航空）に荷物を預けチェックイン、この時点では21時20分発搭乗予定のKE918便（韓国インチョン空港行き）は2時間ぐらい遅れているとの情報。

出国審査場でスタンプを押して貰う。

ガイドは後日別のパーティーを案内する為ここでお別れ。

18:30 指定された搭乗ゲート付近で待機。殆どの乗客は韓国人、インチョン空港で乗り継ぐ日本各地行きの乗客が30人前後、欧米系の乗客は見当たらない。

20:00 航空会社より本日のKE918便飛行中止との発表。該当機とチューリッヒ空港管制塔とのコンタクト不十分でドイツの空港に向かったという不可解な理由で（本当かいな？）。

ジャンボ機1台分の乗客200人はいたと思う。後始末が大変だ。

先ず韓国の団体何組かが係員に誘導されて動いて行く。しばらくして日本各地行き
の我々に専任の係員がつき誘導されて動く。

来た時とそっくり逆をたどる、出国審査場で出国を取り消す、航空会社のカウンタ
ーで預け荷物を返してもらってバス乗り場に行く。当然のように乗り場にはまだ 150
人程の行列が残っている。あと 2 台目のバスに乗れると思った時に突然行列の動きが
止まった。

深夜 12 時を過ぎたのでバスはもう動かさないとの事。(運転手の労働時間の問題ら
しい)

タクシーに分乗してホテルに向かう。30 分でホテルに到着。こちらも行列、順番待
ち。

ルームキーを受け取り部屋に落ち着いたら、午前 2 時を過ぎていた。

7 月 16 日 7:00 ビュッフェスタイルの朝食。質量とも充実している、スパーク
リングワインまで置いてあった。スイス滞在 8 日間で一番の朝食。

部屋の外は庭と地続き、日本では見られないクロウタドリという鳥が虫取りに夢中
で何度も姿を見せる。出発時間までのんびりできた。

ホテルの名前は Hotel zur Therme 対応のテキパキした従業員のいるいいホテルだ。

10:30 迎いのバスでチューリッヒ空港へ向かう。昨日と同じ専任の係員が何くれ
となく面倒を見てくれる。ご苦労様です。ホテル代金は勿論航空会社持ち。

昨日に続く大韓航空のカウンター、荷物を預け、ボーディングパスをもらう。この
際に緑色の飲食バウチャーなる紙も一緒にもらう。空港内飲食店、売店で上限
30CHF(日本円約 3,600 円)迄使用可能との事。1 日遅れのお詫びの印のようだ。

出国審査場で出国のスタンプをもらい搭乗ゲートに向かう。先ほどの飲食バウチャ
ーで昼食を 2 人分購入し、豪華に食事を済ます。

今日の KE918 便は 14:00 の出発。(本来この便は 21:20 の出発予定) 隣国ドイツ
から飛んできた飛行機なのだろうか?

14:00 定刻チューリッヒ空港を離陸、韓国インチョン空港に向かう。飛行時間 11
時間。時差プラス 7 時間の空の旅。

7 月 17 日 8:00 韓国インチョン空港に到着。皆様とお別れ、成田組 5 名で乗り
継ぎ搭乗ゲートに向かう。

13:45 成田空港より渋谷行きのリムジンバスで我が家に向かう。

旅、特に海外旅行は色々想定外の出来事が起きる。それでも旅行は楽しい。

街路樹にふれて

顧徳栄

お花屋さんに行けば四季の花を一度に見ることができる。ビニールハウスでの栽培が“四季”を作り出している。このごろは季節感がなくなった。

ちょっと回りを見渡せば自然の移りかわりを感じさせる街路樹がある。山下公園海岸通りのイチョウ並木がそれだ。年によって多少の遅速があっても暦の通り自然のままの季節を表現してくれる。夏にはうっそうとした緑の葉を付け、秋にはそれが黄金色に変わり、冬には枝が裸になり空の青さを引き立たせてくれる。四季の変化を直近に感じさせる。

どこの街路樹も一定の距離をおき、向かい合わせで整然と並んでいる。

私が感動を受けたのは山下町中華街の街路樹だ。処せましと高々と葉をつけそびえている。中華街に街路樹があると発見したときは感動した。

それを目にして名前と呼べないのがもどかしかった。

広東同郷会の新年会で、横浜華僑総会の謝成発会長に尋ねた。せんだんの樹と言われ、その選ばれた経過を紹介してくれた。中華街の通りはせまく、地下埋設管が並び、樹木の選択と距離の配置にも制約があった。せんだんの樹は背が高く根も広がらず、中華街に適していると教えてくれ、ゼロから出発したこの企画には敬服した。



中華街の店舗の移り変わりには目を見張るが、街路樹の存在の方がおどろきだった。中華街にも自然があったのだ。

そこを通るたびに目にすると癒される。つい最近、歩いていると通行人から「あら、これ何の樹？」という声がきこえ、私はすかさず「せんだんの樹ですよ」とおせっかいをやいてしまう。

帰りがけにはいつも、幹の肌にふれ「狭いところで、大変だけど頑張ってるね」と声をかける。

中華街の街路樹「せんだん」

第 26 届第 22 回理事監事幹事聯席會議記錄

日 時	2017 年 1 月 7 日(土)午後 5:00～		
場 所	廣東同鄉會會議室		
出席者 17 名	陸煥鑫 朱銘江 符順和 羅博英 李旭光 尹 星 梁啓成 羅清福 何子嵐 孔潔貞 黃興齊 楊偉雄 徐永贊 黎啓榕 伍国群 胡偉良 張康權		
議 長	陸煥鑫	議事録作成人	朱銘江
議 事 内 容			
<p>1、12 月 11 日（日）に行った恒例のウォーキングの会には 16 名が参加。目的地は目黒に近い国立科学博物館附属自然教育園。</p> <p>2、広東省僑聯の要請を受け、12 月 20 日から東京中国文化センターで開催の「北京法海寺壁画恭摹珍本展」にあたり、12 月 18 及び 19 の両日会場設営幫助のため、孔潔貞理事兼事務局長を派遣した。</p> <p>3、会館 1 階のテナント契約が期日を迎えたため、将来を見越し期限付きで再契約。</p> <p>4、前回理事会で伍国群理事より提起された会員大会（社員総会）の際の出席人数に関しては、定款第 18 条に明記されている通りで、委任状を含む出席会員が過半数であれば総会は成立することが確認された。</p> <p>5、1 月 15 日（日）に開催される本会の新年会について打ち合わせる。当日の進行や役割分担について確認した。 今回は第 3 彦田ビル入手に際し、尽力していただいた平和不動産など日本の友人を来賓として招待する。参加予定の新成人は 4 名、余興は獅子舞いとオペラなどの歌唱を予定。</p> <p>6、春季旅行会は 3 月下旬に挙行予定。（目的地は熱海・伊豆山温泉）</p>			

第 26 届第 23 回理事監事幹事聯席會議記錄

日 時	2017 年 2 月 4 日(土)午後 6:30～		
場 所	廣東同鄉會會議室		
出席者	陸煥鑫 朱銘江 羅博英 李旭光 尹 星 梁啓成 羅清福 何子嵐		
13 名	孔潔貞 楊偉雄 徐永贊 張康權 余婉齡		
議 長	陸煥鑫	議事録作成人	朱銘江
議 事 内 容			
<p>1、選挙開票結果公表：会員数 345 名、投票総数 186 票（うち無効票 2 枚、白票 2 枚）、有効票 182 票。投票率 53%。得票数上位 30 名は以下の通り：</p> <p>朱銘江(158 票)、符順和(134 票)、陸煥鑫(133)、尹星(104 票)、徐永贊(104 票) 黎啓榕(104 票)、孔潔貞(98 票)、梁啓成(95 票)、羅博英(90 票)、李旭光(86 票) 張康權(82 票)、伍国群(80 票)、郭学恒(71 票)、胡偉良(69 票)、黃興齊(68 票) 羅清福(67 票)、夏東開(61 票)、譚偉忠(55 票)、余婉齡(55 票)、曾嘉良(44 票) 李国松(44 票)、何子嵐(37 票)、潘民生(36 票)、楊偉雄(35 票)、巖華新(28 票) 譚優矢(28 票)、伍国雄(26 票)、潘永誠(26 票)、郭少東(24 票)、陳鉅金(22 票)</p> <p>2、各友好団体新年会 イ) 1 月 21 日(土)、浙江同郷会(銀座維新號)陸煥鑫会長が本会を代表し出席 ロ) 1 月 28 日(土)、江蘇同郷会(銀座維新號)陸煥鑫会長が本会を代表し出席 ハ) 1 月 29 日(日)、北省同郷聯合会(上野蓬萊閣)陸煥鑫会長が本会を代表し出席 ニ) 2 月 4 日(土)、台湾省民会(銀座維新號)陸煥鑫会長が本会を代表し出席 ホ) 2 月 4 日(土)～5 日(日)、福建同郷会(那須温泉グランヴェール那須)符順和副会長が本会を代表し出席</p> <p>3、新年会会計報告： 参加者総数 309 名（大人 300 名、未就学児 9 名） 飲食代金支出総額 2,532,020 円 家族等参加費収入 127,500 円 来賓等祝儀収入 120,000 円</p> <p>4、新入会員：阿多章二（紹介者：李香、孔潔貞）</p>			

第 26 届第 24 回理事監事幹事聯席會議記錄

日 時	2017 年 3 月 4 日(土)午後 5:00～		
場 所	廣東同鄉會會議室		
出席者 21 名	陸煥鑫 朱銘江 羅博英 李旭光 尹 星 梁啓成 羅清福 何子嵐 孔潔貞 楊偉雄 徐永贊 張康權 余婉齡 伍国群 曾嘉良 黃興齊 黎啓榕 胡偉良 李国松 符順和 土 田		
議 長	陸煥鑫	議事録作成人	朱銘江
議 事 内 容			
<p>1、土田會計顧問が 2017 年度の予算について説明した。</p> <p>2、2 月 9 日(木)、香港特別行政区駐東京經濟貿易代表部、香港・日本經濟委員会と香港貿易發展局が共同開催した「香港春節レセプション」が ANA インターコンチネンタル東京・プロミネンスにて開かれ、陸煥鑫会長が本会を代表し出席した。</p> <p>3、3 月 5 日(日)、東京華僑婦女会主催の「三八婦女節」の祝賀会に符順和副会長を派遣することを決めた。</p> <p>4、3 月 26 日(日)～27 日(月)開催予定の春季温泉旅行の申込者は 63 名に達した。</p> <p>5、2 年間会費を滞納した者は規定により自動退会の扱いになるが、該当者には通知を出すこととする。</p> <p>6、逝去会員：劉兆能氏 謹んでご冥福をお祈りいたします。</p> <p>7、【正副会長互選】 新たに選出された理事 15 名(朱銘江・符順和・陸煥鑫・尹星・徐永贊・黎啓榕・孔潔貞・梁啓成・羅博英・李旭光・張康權・伍国群・胡偉良・黃興齊・羅清福)による互選の結果、次期正副会長が選出された。 会 長：陸煥鑫 副会長：朱銘江 符順和</p>			

第 27 届 第 1 回 理事 監事 幹事 聯席 會議 記録

日 時	2017 年 4 月 1 日 (土) 午後 4:00～		
場 所	廣東同郷会會議室		
出席者 14 名	陸煥鑫 朱銘江 符順和 羅博英 尹 星 梁啓成 羅清福 何子嵐 孔潔貞 楊偉雄 伍国群 黃興齊 黎啓榕 胡偉良		
議 長	陸煥鑫	議事録作成人	朱銘江

議 事 内 容

- 1、新理事選出に伴い、理事会の職務担当を決める。
 <名誉会長> 郭少東 <顧問> 李国松 夏東開 潘創治 郭学恒
 <会長> 陸煥鑫 <副会長> 朱銘江 符順和 <総務> 尹星 胡偉良
 <会計> 徐永贊 羅清福 <福利> 羅清福 李旭光 張康權 伍国群
 <外交> 符順和 梁啓成 羅博英 <文化> 朱銘江 黃興齊 黎啓榕
 <青年> 朱銘江 黃興齊 <監事> 余婉齡 曾嘉良 何子嵐
 <幹事> 楊偉雄 譚偉忠 <会計顧問> 土田修弘 <事務局長> 孔潔貞

- 2、3 月 26～27 日、熱海温泉旅行・熱海伊豆山「ニューさがみや」にて挙行。会員と家族計 62 名が参加。参加費総収入 520,000 円、ホテルへの支払い総額 1,286,674 円。今後は、不測の事故に備え「旅行保険」に加入することとする。

- 3、3 月 13 日(月)、広東省湛江市陳偉杰副市長一行 6 名が来日し本会と交流。日比谷聘珍樓にて正副会長と一部理事が接遇。合わせて、7 月に湛江市を訪問するよう招請された。

- 4、4 月 1 日(土)、保育園小紅の開園式に符順和副会長が本会を代表し参列し祝意を表した。

- 5、広東省僑弁より 6 月 5～11 日に開催される「華僑華人広東文化行」の招待を受け、孔潔貞理事兼事務局長を派遣することとした。

- 6、今年に春のウォーキングは「日本橋周遊クルーズ」を計画。実施日は 6 月 4 日を予定。

- 7、5 月の会議予定 13 日 16 時～理事会、28 日 会員大会 (社員総会)

第 27 届 第 2 回 理 事 監 事 幹 事 聯 席 会 議 記 録

日 時	2017 年 5 月 13 日 (土) 午後 4:00～		
場 所	廣東同郷会会議室		
出席者 18 名	陸煥鑫 朱銘江 符順和 羅博英 張康權 伍国群 羅清福 何子嵐 黃興齊 曾嘉良 孔潔貞 黎啓榕 梁啓成 楊偉雄 夏東開 余婉齡 徐永贊 土 田		
議 長	陸煥鑫	議事録作成人	朱銘江

議 事 内 容

- 1、土田顧問、財務諸表について説明。
- 2、5 月 28 日開催予定の会員大会（社員総会）に向け、議事進行がスムーズに運ぶよう、当日の役割を分担。
- 3、4 月 14 日、北京廣東五邑僑郷海外聯誼会の黄健華秘書長が来訪。陸会長、朱副会長が接遇。
- 4、6 月 9 日 (金) 午前、広東省佛山市高明区政府代表团 (团长：梁耀斌高明区政府区长) 一行 11 名が本会訪問予定。
- 5、梅州市僑務訪問团 (团长：湯志平梅州市帰国華僑聯合会副主席) 一行六名が 6 月中に本会訪問予定。
- 6、6 月 6 日、横浜華僑總會主催の各僑団懇親会に陸会長が出席予定。
- 7、逝去会員：楊鳳喜女士。享年 91 歳。謹んでご冥福をお祈りいたします。

第 27 届 第 3 回 理 事 監 事 幹 事 聯 席 会 議 記 録

日 時	2017 年 6 月 3 日 (土) 午後 5:00～		
場 所	廣東同郷会会議室		
出席者 15 名	朱銘江 符順和 李旭光 羅博英 張康權 伍国群 徐永贊 羅清福 何子嵐 黃興齊 孔潔貞 黎啓榕 梁啓成 尹 星 胡偉良		
議 長	朱銘江	議事録作成人	朱銘江

議 事 内 容

- 1、6 月 3 日 (土) 開催の理事会は陸煥鑫会長が欠席のため、朱銘江副会長が議事進行を務める。
- 2、5 月 28 日 (日) 午前 11 時より、上野・蓬萊閣にて 2017 年度定期会員大会 (社員総会) 開催、会員 345 名のうち過半数を超える 221 名 (うち委任状 108 名) が出席し、当日上程されたすべての議案は、多数の賛同を得て原案通り承認された。
また、先に選出された正副会長を含む理監事の人事が本大会で追承認された。
会員大会終了後、同所で懇親のための昼食会が開かれた。
- 3、6 月 4 日 (日)、本会主催のウォーキング & 日本橋クルージングの会開催予定。参加者は午前 9 時 45 分に地下鉄人形町駅 A5 口集合、徒歩で日本橋へ移動後チャーターしたクルーズ船に乗り、90 分にわたる日本橋クルーズを楽しむ。
- 4、6 月 9 日 (金) 午前 10 時、佛山市高明区梁耀斌区長一行 10 名が本会来訪予定、会館にて歓迎会を催し、日比谷聘珍樓にて昼食会を開催予定。同日午後 5 時、梅州市僑聯湯志平主席一行 6 名が本会来訪予定、会館にて歓迎会を催し、日比谷聘珍樓にて夕食会を開催予定。
- 5、横浜華僑総会会員代表大会開催向け、本会より会員代表、理事候補を推薦する。理事推薦候補は従前の通り朱銘江、符順和、黎啓榕、羅清福のほか、新たに本人の希望により横浜在住の会員である潘民生、大矢慧馨の両名加え、計 6 名を推薦することを理事会で採決の未決定した。
- 6、新入会員：黄真人 (祖籍：新会)。

第 27 届 第 4 回 理事 監事 幹事 聯席 會議 記録

日 時	2017 年 7 月 1 日 (土) 午後 5:00～		
場 所	廣東同郷会會議室		
出席者 17 名	陸煥鑫 朱銘江 符順和 李旭光 羅博英 張康權 羅清福 何子嵐 黃興齊 孔潔貞 黎啓榕 梁啓成 尹 星 胡偉良 曾嘉良 余婉齡 楊偉雄		
議 長	陸煥鑫	議事録作成人	朱銘江
議 事 内 容			
<p>1、6 月 4 日 (日)、本会主催のウォーキング & 日本橋クルージングの会举行。参加者は午前 9 時 45 分に人形町駅 A5 出口に集合し、徒歩で日本橋へ移動後、チャーターしたクルーズ船に乗り、90 分にわたる日本橋クルーズを楽しんだ。参加者 40 名、クルーズ船チャーター代 97,200 円。昼食補助費 40,000 円。</p> <p>2、第三届世界廣府人懇親大会が 11 月 16-18 日の日程で広東省江門市にて開催予定。参加申込みの締切りは 8 月 30 日。</p> <p>3、6 月 5～11 日、広東省僑弁主催の「華僑華人広東文化行」に、孔潔貞理事兼事務局長が参加。潮州、汕頭などを視察した。</p> <p>4、6 月 9 日 (金) 午前 10 時、佛山市高明区梁耀斌区長一行 10 名が本会来訪、会館にて歓迎会を催し、日比谷聘珍樓にて昼食会を開催した。</p> <p>5、6 月 9 日 (金) 午後 5 時、梅州市僑聯湯志平主席一行 6 名が本会来訪、会館にて歓迎会を催し、日比谷聘珍樓にて夕食会を開催した。</p> <p>6、7 月 5 日に開催される横浜華僑総会会員代表大会に尹星理事が本会を代表し出席予定。</p> <p>7、今年の敬老会は 9 月 18 日 (月) 横浜中華街聘珍樓で開催予定。</p> <p>8、次号の《会刊》は敬老会開催時に配布予定。投稿締切りは 7 月末日。</p> <p>9、逝去会員：温琨華女士 (6 月 5 日逝去 享年 86 歳)、謹んでご冥福を祈ります。</p>			

第 27 届第 5 回理事監事幹事聯席會議記錄

日 時	2017 年 8 月 5 日(土)午後 5:00～		
場 所	廣東同鄉會會議室		
出席者 17 名	陸煥鑫 朱銘江 符順和 李旭光 羅博英 張康權 羅清福 何子嵐 孔潔貞 黎啓榕 梁啓成 尹 星 伍国群 胡偉良 楊偉雄 郭学恒 譚偉忠		
議 長	陸煥鑫	議事録作成人	朱銘江

議 事 内 容

- 1、7 月 8 日～12 日まで、陸煥鑫會長を団長に朱銘江副會長、符順和副會長、徐永贊理事、孔潔貞理事、尹星理事は湛江市を友好訪問した。これは、今年 3 月に来日した陳偉傑副市長の招請に応じたもの。湛江市は広東省の西端であると同時に中国大陆の最南端に位置する地域。また、湛江に属す雷州半島は、山東半島、遼東半島に次ぐ中国三番目の半島として知られ、南側の海峡を隔てた先は海南省である。湛江市滞在中は陳偉傑副市長はじめ、湛江市外事僑務局、湛江市供銷合作社聯合社等各部門の款待を受けた。
- 2、香港經濟貿易代表部の招きにより、7 月 31 日及び 8 月 1 日、東京オペラシティコンサートホールで開かれた「アジアユースオーケストラ 2017 日本公演」に本會理事らが招かれ、両日とも 8 人が鑑賞した。
- 3、汕尾市代表團、広州市海外聯誼會代表團が、今月末及び今秋に来訪予定。
- 4、福建同鄉會より、8 月 27 日、新宿区西新宿のヒルトン東京にて開かれる同會主催の納涼會の招待をうける。陸煥鑫會長が出席予定。
- 5、7 月 5 日に開催された横浜華僑總會會員代表大會の懇親會に尹星理事が本會を代表し出席した。
- 6、今年の敬老會は 9 月 18 日(月)横浜中華街聘珍樓で開催予定。
- 7、次号の《會刊》への投稿を引続き呼びかけ。敬老會開催時に配布予定。
- 8、新入會員：陳素環(広州)、王月英(広州)

日本橋クルーズを楽しむ

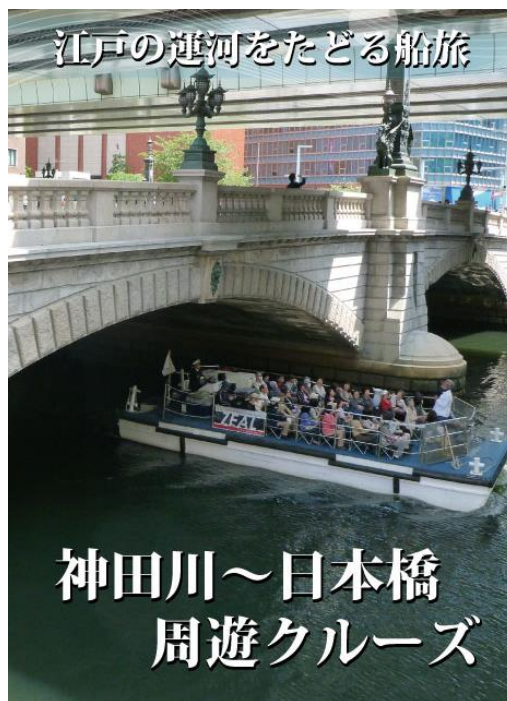
6月4日(日)、初夏の都心ウォーキングと日本橋クルーズを楽しんだ。

同日午前9時45分、本会会館に程近い地下鉄の人形町駅前に集合した40名の参加者は、徒歩でクルーズ船の棧橋がある日本橋のたもとを目指した。

日本橋に到着した一行は橋を背景に記念写真に納まり、午前10時半過ぎ乗船。

屋根の無いオープントップのクルーズ船は女性の船頭がクルーズ船の操舵を担当し、船は岸を離れ高速道路の高架下をゆっくりと日本橋川を西へ進んだ。

まず船は日本橋をくぐり、ガイドの解説を聞き、江戸から東京へ水運の歴史的な変遷をたどった。



6月9日上午，
佛山市高明區人民政
府梁耀斌區長（前右
3）率代表團蒞會訪問。
中午本會假日比谷聘
珍樓設午宴歡迎。



6月9日下午
梅州市僑聯湯志平主席(左4)
率梅州市僑務代表團蒞會訪
問。會後假日比谷聘珍樓設
晚宴歡迎。

8月22日，汕尾市
余紅副市長(中間左)
率代表團蒞臨我會訪
問，本會正副會長暨
部份理事歡迎一行的
到來。事後假日比谷
聘珍樓餐敘。

